

新嵐山スカイパークの今後について

1 令和5年度の運営（維持管理方法と所要経費）について

(1)新嵐山スカイパークの再生を目的としたランドデザイン策定に向けた調査及び協議に係る経費については、令和5年12月20日に補正予算の議決をいただいたところであり、次のとおり視察を行う予定。

①視察日程 令和6年2月19日(月)～21日(水)

②視察先 静岡県函南町、高知県本山町

(2)索道事業(リフト)の譲渡譲受(会社→町)については、令和6年1月16日付けで北海道運輸局長の許可を受けている。

(3)自衛隊訓練で、歩くスキーの会のコースを活用したい等の要望を数件受けており、関係部署と調整し、町民利用に支障をきたさないことを条件に許可している状況である。

2 令和6年度の運営（維持管理方法と所要経費）について

(1)令和6年度は、「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(令和6年3月上旬)により、ランドデザイン策定に取り組む。(ランドデザイン策定に係る委託料については、令和6年度当初予算で提案予定)

(2)スキー場は、めむろ未来☆ミーティング、LINE 等を活用したアンケート、ワークショップ、ホットボイス等でいただいた様々な意見の中でも、特に早期再開の要望が多く、観光の面だけでなく、学校教育、生涯学習等の面からも重要な機能であり、上記1(2)の許可を受けたことから、令和6年度再開に向け、リフト点検委託に関する経費を令和6年度当初予算で提案予定。

(リフト点検委託については、上記1(2)の際に北海道運輸局からメーカー等による点検を受けるよう助言があったもの)

なお、点検の結果、修繕等の必要な経費が発生する場合は、補正予算等で対応する。

(3)公園機能としての活用については、新嵐山スカイパークの一部開放に向けて、草刈等の経費を令和6年度当初予算で提案予定。

3 経営方針変更の手順とスケジュールについて

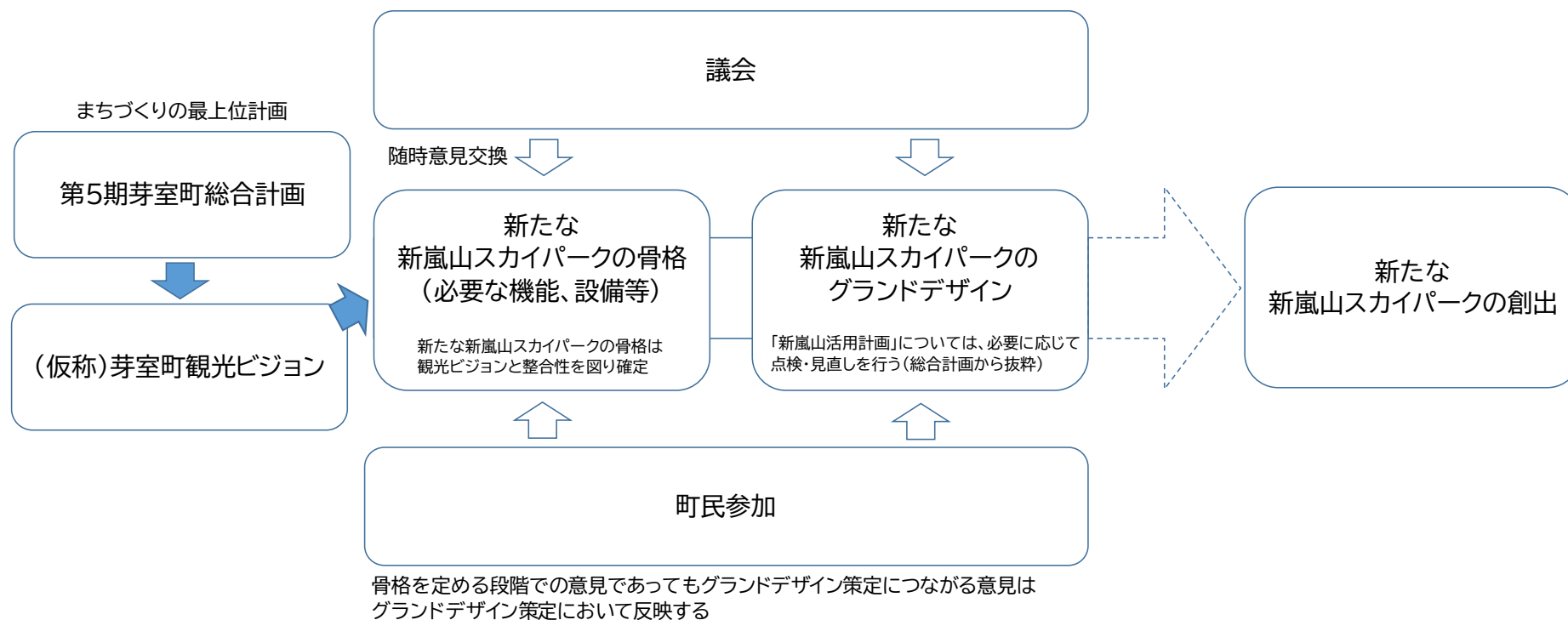
(1)新嵐山スカイパークの再生に向けたスケジュール(令和6年1月現在)

	項目	内容	令和5年度		令和6年度	令和7年度以降
			令和5年10月～令和6年1月	令和6年2～3月		
1	あり方の骨格 (必要な機能・設備)	今後の新嵐山スカイパークに必要な機能や設備のこと (例:スキー場、キャンプ場、宿舎、レストラン)	<ul style="list-style-type: none"> ・めむろ☆未来ミーティング(10月) ・アンケート(LINE)(11月) ・ワークショップ(12月) ・ホットボイス ・めむろ☆未来ミーティング(1月) 			
2	ランドデザイン (全体的な構想)	基本理念、機能、規模、場所(配置)、工程			策定	
3	基本構想・基本計画	機能性、周辺環境との連携、概算工事費、施設等の構造、レイアウト				策定
4	実施設計・工事施工 (工事を伴う場合)	工事施工に向けたデザイン、設計、工事費の詳細積算、工事着工				策定・工事施工
5	一部オープン	町民の皆さんからの要望の多い機能等は可能な限り早期再開			スキー場等を想定	
6	ランドオープン	1～5の取組による新たな新嵐山スカイパークのオープン				ランドオープン

(2) グランドデザイン策定までの進め方

- ①令和6年3月上旬に新たな新嵐山スカイパークのあり方の骨格(必要な機能、必要な設備等)を確定させる。
- ②骨格となる機能や設備等をどのように整備するのか、どのように新たな新嵐山スカイパークに位置付けるのかをグランドデザインで定めていく。
- ③新嵐山スカイパークのあり方の骨格やグランドデザインの検討など、各段階において様々な手法で町民参加を募る。
- ④新嵐山スカイパークのあり方の骨格に記載の機能や設備、サービスであっても、グランドデザインの策定を進める中で、事業規模や新嵐山スカイパークでの配置、事業費等により、実現が難しいものや当面取り組むことができないものも考えられる。

《イメージ》



(3)今後のスケジュール

令和6年2月下旬 「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(案) 確定

令和6年3月2日(土) 「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(案)に係る説明会 会場:めむろーど

令和6年3月4日(月)～6日(水) 「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」(案)に係る説明 会場:役場会議室

令和6年3月上旬 「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」確定

※町民意見(未来ミーティング、アンケート、ホットボイス、ワークショップ)の概要は参考資料のとおり。